



幼保小中一貫教育プロジェクト

令和6年度阿久比町教育指針



◎阿久比町教育基本的理念

子どもたちが、自らのよさや可能性を伸ばし、自己実現を目指すとともに、社会を担う主体となるために、多様な人々と協働してさまざまな課題を乗り越え、これからの社会をよりよいものにし、豊かな人生を送ることを目指します。

そのために、学校を地域の拠点としながらも家庭・地域との連携を強化し、「欠落なき教育」「段差なき教育」「落差なき教育」を中心とした、幼保小中一貫教育の推進を図ります。

阿久比町が目指す具体的な15歳の生徒像

- (1) 自らを律し、自ら実践していく生徒
- (2) 「生きる力」(社会で役立つ学力、社会で生きていく上で必要な人間性、社会で生きていく上で必要な健康と体力)を身につけた生徒

〈令和6年度のテーマ〉

健やかな体と心を育む教育を充実させ、子どもたちが生涯にわたって生き生きと活躍するために必要な力を育てよう

幼保小中一貫教育の推進のためには、人的・物的環境の整備充実を図ることが必要。「幼保小中一貫教育は阿久比の未来」「四方よし」を合い言葉に「教育のまち 阿久比」「読書のまち 阿久比」を創っていきます。

「四方よし」

子どもよし：人としての基礎・基本の定着と学力の向上

保護者よし：阿久比町幼保小中一貫教育の理解促進と家庭教育の充実

地域よし：地域による学校支援の充実と地域の教育力の向上

園・学校よし：教員・保育士の力量向上

